

# 旧菅原小 宿泊施設へ

## 鹿屋

# 大隅の魅力発信拠点に

鹿屋市天神町の旧菅原小学校を改装した体験滞在型の宿泊施設「ユクサおおすみ海の学校」が、開校した。「大隅の日常」をテーマに、地元食材の料理を味わえる食堂を備え、地域と連携した各種体験プログラムを提供。関係者は大隅の魅力を発信する拠点にしようと意気込む。



同市の民間企業カタスツアが運営する。国交省指定の民間都市開発推進機構の出資を受け、インターネットで資金を募るクラウドファンディングも活用。約7千万円かけて校舎をリノベーションした。今月に入りグラウンドオープン。施設見学会を15日開き、夏休みからの本格利用を見据える。



「島の子どもにも海を嫌い」と始めた。ビーチフラッグ、スイカ割りなど遊ばだけではない。水難救助訓練も体験してもらっている。ビーチフラッグは2人と、南日本新聞日置地区南日会(販売所長)が21日、日置市中央公民館で講座を開いた。南日本新聞社員ら

## 夏休み自由研究 新聞の活用学ぶ



新聞を活用した自由研究に取り組み親子連れら 21日、日置市中央公民館

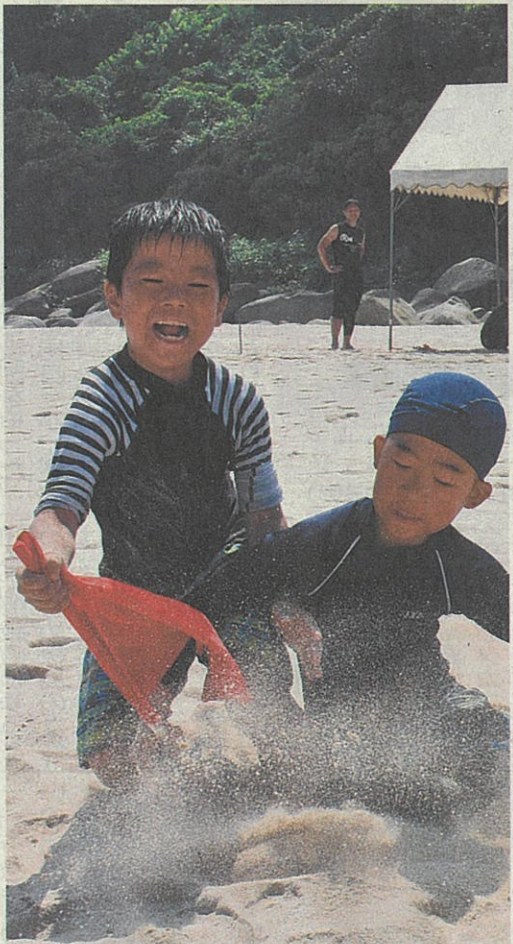
### 日置で出前講座



夏休みの自由研究に新聞を活用してもらおうと、南日本新聞日置地区南日会(販売所長)が21日、日置市中央公民館で講座を開いた。南日本新聞社員ら

ユクサおおすみ海の学校の外観。鹿屋市天神町の旧菅原小学校。川島康代表取締役(42)は「体験型宿泊施設と観光立ち寄り所の機能を持つ複合施設。地域の人や自然を先生に大隅の日常を体験し、素晴らしい話を聞いてほしい」と話した。旧菅原小は2013年に閉校。鹿屋島湾に突き出した小さな岬に立地し景観が良く、市が活用案を16年に公募していた。ユクサおおすみ海の学校(0994)318193。(成尾由理香)

岩松マミ・読者やタ1長(59)がクイズ交えて記事の読み書き方を説明した後好きな記事を貼り付けた。人が20分を走って1の旗を奪い合った。まみれになるのをいわず頭から旗に突っ込むハッスルプレーに保護者から大きな声があがった。低学年の部で優勝した榕城小学校2年、陽南大君は「砂は手にくっつくけど、フットをうまく切れた優勝できてうれしかった。深野修



砂まみれで旗を奪い合う小学生 西之表市国上の浦田海水浴場

# 猛暑に負けず元気いっぱい!!

小中学生28人が3キロを泳ぎ切る。阿久根「海の子カーニバル」が海の日の16日、阿久根市であった。市内の小中学生28人が阿久根大島から対岸の五色浜までの約3キロを泳ぎ切った。今年34回目の伝統行事。学校などで練習を重ね、本番に挑んだ。真夏の日差しの下、伴走船からの声援を受け、2列縦隊で互いに声を掛け合いながら泳いだ。見せた。(田中公人)

最短で2キロほどの距離だが潮流が速いため、大回りして約1時間10分に到着。保護者のねがいの拍手を受けながら、パートナーと手をつないで岸に上がり、用意されたせんざいを頬張った。先頭の1人で西目小学校6年の新戸慶也君は3回目の参加。「急ぎ過ぎないよう後ろに気をつけて泳いだ。潮が少し強く、クラゲが多くてつらかったけど楽しかった」と笑顔をみせた。(田中公人)

北海道の標本も化石60点を展示。薩摩川内市鹿島の鹿島支所内に「甌米ミュージアム恐竜化石等準備室」で、企画展「北海道のアンモナイト展」が開かれている。北海道の愛好家が収集したアンモナイトを中心に、さまざまな時代や種類の化石約60点が並ぶ。9月2日まで。北海道は世界的に有名なアンモナイト化石産地として知られる。企画展では、北海道の



多彩なアンモナイトの標本を見学する子どもたち。薩摩川内市鹿島(税所陸郎撮影)

三笠市立博物館ボランティア会員、岡島孝義さんが集めたアンモナイトを提供。併せて下甌島で見つけた化石も解説とともに展示している。15日はオープニング

イベントもあり、親子連れらが化石のクリーニング体験や、講演を楽しんだ。地元の鹿島小学校6年の長先海君は「変わった巻き方のアンモナイトにびっくり。クリーニング体験

では研究者の頑張りがよく分かった」と話した。(常深さゆり) 北別府旗目指し16チームが熱戦。曾於・小学生野球大会。プロ野球広島東洋カ

17日の開会式では、こくまファイターズ



(曾於市)の林寛平将が選手宣誓し、北府さんが新調した旗を五位塚市長に手した。北別府さんは「白を育ててくれた地域の恩返しと思ひ、市